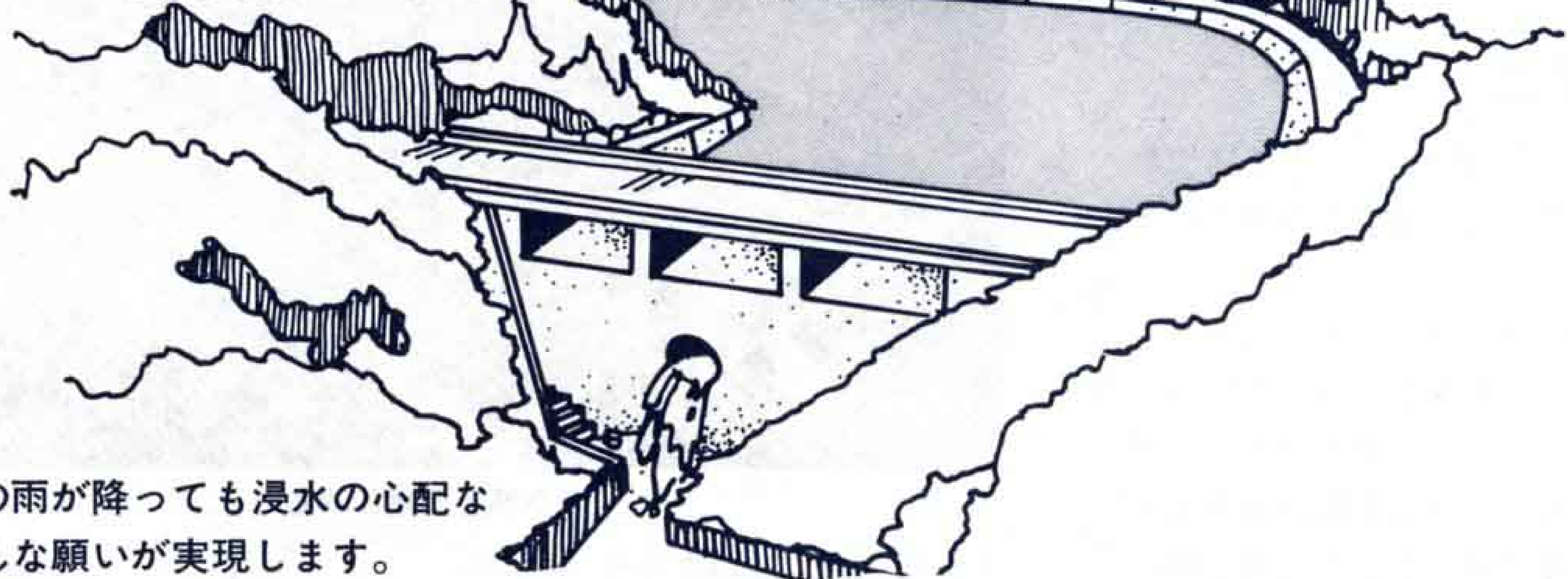


# 治水対策のエースに

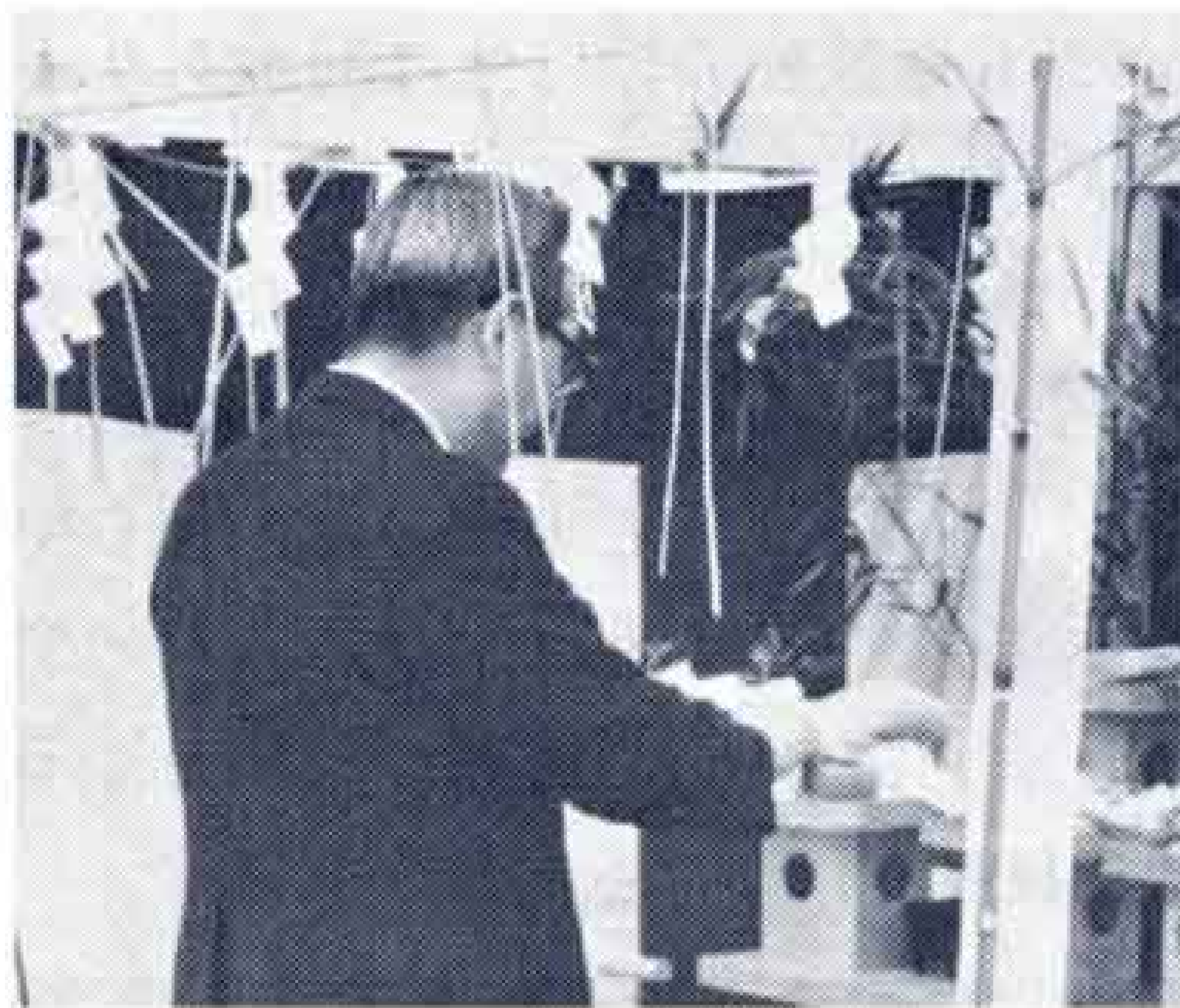
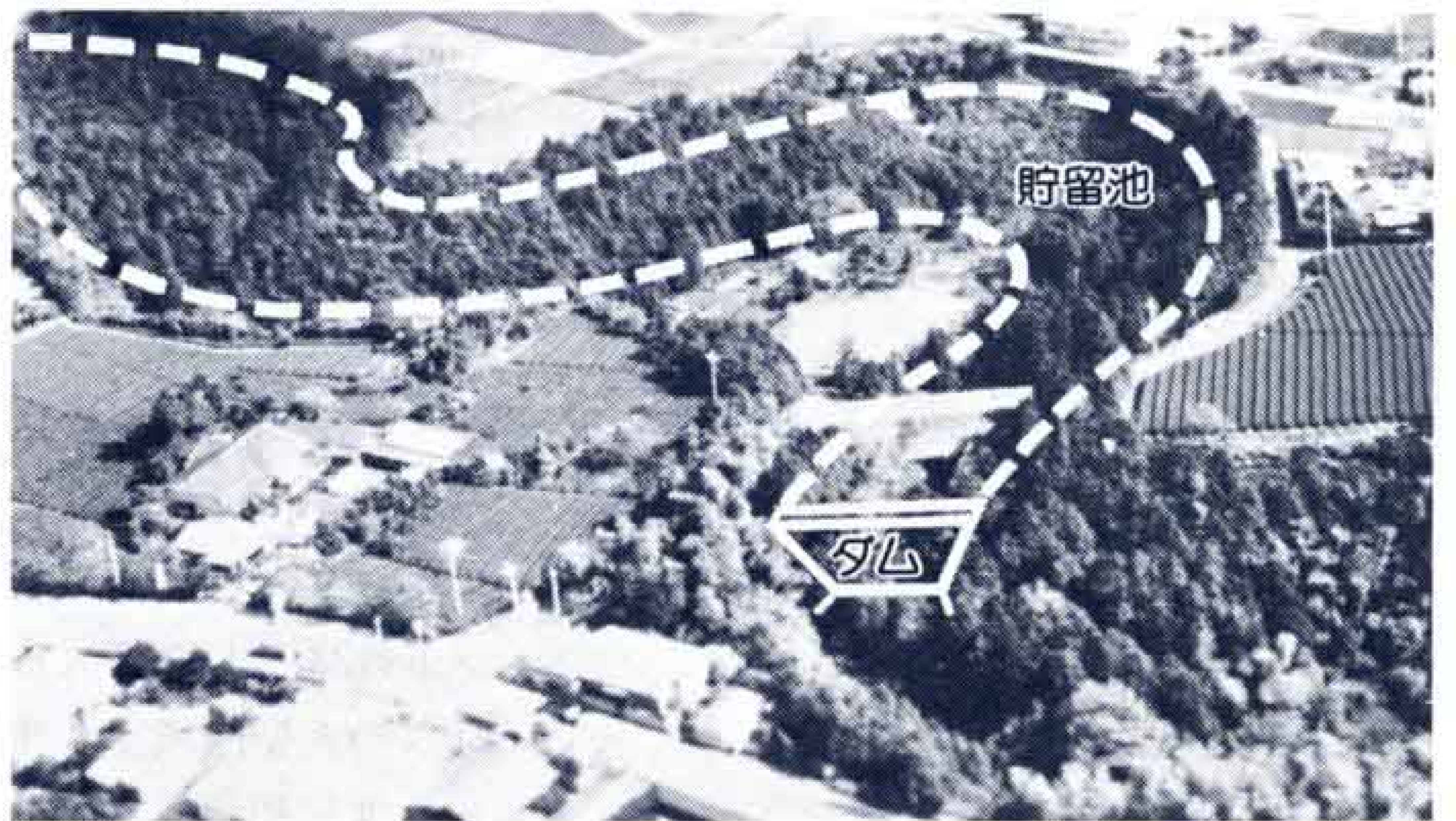
## 片倉雨水貯留池建設はじまる



少々の雨が降っても浸水の心配なし、そんな願いが実現します。

全国で初めて大淵地区片倉地先に建設される雨水調整ダム（片倉雨水貯留池）は、小潤井川流域の吉原地区市街地の水害防止対策として、今年度から3ヵ年計画で、国の補助を受けながら総事業費約11億円をかけて建設されます。

1月19日には起工式も終わり、災害に強いまちづくりへ力強く第一歩をふみ出しました。



### 治水対策に新しい考え方を

富士市の地形は、富士山麓の丘陵地のため、山間部に降った雨が、短時間のうちに、急激に平坦部の吉原地区市街地に出水する特性があります。

また、昔の富士川の流れの影響で、

市街地を流れる河川のほとんどが、横断するように流れている悪条件もあり、何回となく浸水の被害がでていました。

このため、市街地を流れる伝法沢川下流の小潤井川、和田川、田宿川、松原川などの河川は、毎年度改修工事を行っています。今後ますます

## 私のひとこと

### どんど焼に行って

市政や日常生活のことなどについて、あなたの意見や質問をお寄せください。紙上の匿名はさしつかえありませんが、原稿には住所氏名、年齢を必ずお書きください。  
▷送り先 市広報広聴課

一月十四日、昔からの行事どんど焼が行われ、子どもと楽しんできました。

当日は、火力で顔をまっ赤にしながら木に刺した団子を焼き、久しぶりに童心にかえったものです。

ただ、この行事をとおして感じたことがありましたのでつづつてみました。

どんど焼を行う前に子どもも会役員さんは、各家庭のしめ飾りを集め、おんべ、こんべに使う竹を買いに行き、朝から仕度をしてくれました。

私たちが子どもころは、六年生を中心にしめ飾りを集め、竹も買いに行きました。上級生がリーダーシップをとり、下級生の指導をする。そこに子どもたち同士のふれあいできていたように思います。

大人が全部仕度をしてやらないと何んにもできないと言われていたいまの子どもたち。しかし、できないのではないと思います。

親が教えない。させないということの方があたってのかもしれない。

子どもたちにもできることはさせるようにみんな考えていると感じたのは私だけだったでしょうか。  
(一市民)

上流部の開発が進むにつれ治水機能の低下は目に見えています。

しかし、家の密集している地域の川幅を拡げることが非常に困難性があります。

総合治水計画に基づいて建設される片倉雨水貯留池は、下流部の川幅を拡げることが困難という考えから上流部に降った雨水は一度貯留して、下流部へ流れ出る量を調整する役目をするものです。

水害防止対策として、河川へじかに雨水貯留池を造るのは、全国でも初めての試みだけに効果が期待されます。

### 小潤井川流域の浸水は軽減

総合治水計画の第一歩をふみ出す片倉雨水貯留池建設工事によって、いままでわずかの雨が降っても氾濫していた伝法沢川下流の小潤井川流域は、いままでのような浸水からまぬがれることが期待されます。

特に護岸が低かった四軒橋、錦橋付近も流量が相当減ってきますのでいままでのようなことはないと思います。

設計については過去の気象状況を調査し、1時間50ミリの雨が3時間くらい連続して降っても貯留できる5万4,000<sup>ト</sup>の能力をもたせます。

### 事業計画は

雨水貯留池は、3カ年の継続事業



として、約11億円をかけて建設します。

今年度は、事業費1億5,500万円をかけて、貯留池の土砂を9,400立方<sup>ト</sup>掘り、本堤部分のコンクリートの一部を立上げます。また本堤の地盤補強などの工事も行います。

昭和60年3月に完成すると、高さ14.5<sup>ト</sup>、堤頂長46.5<sup>ト</sup>、貯水量5万4,000<sup>ト</sup>のダムになります。

景観についても現況より整然とした感じになります。生活道路として使われている道路も付け替え、幅も拡げて整備します。

### 将来の計画は

将来の総合治水計画は、この片倉雨水貯留池を基礎資料にして進めます。

和田川、田宿川、松原川、滝川などの各河川についても、これからの河川改修事業にあわせて、流域調査、雨水解折、河川の流下能力の検討をします。

また上流部の畑地帯の面的開発計画も調査して、富士山麓の自然の地形を利用しながら各所に小規模貯留池の建設を検討し、下流部市街地の水害防止対策を進めていく考えです。



とうじょうなのみ  
東上直美さん(29歳)と  
隆一君、圭司君  
富士岡花守町

### プロフィール

徳山市と岩国市の間にある山口県玖珂郡大島町(人口6,000人)から富士市へ。大島町では岩国の幼稚園へ勤めていました。

現在は育児と主婦業に専念する生活の中から積極的に市政に参加しています。家族はご主人の卓二さんと隆一君、圭司君の4人。

大島町は徳山市と岩国市の間にある人口六千人の町です。  
瀬戸内海に面していて海がとてもきれいなところです。家が海のすぐ近くでしたので海でよく泳ぎましたし、新鮮な海の幸が豊富にあり、おいしい魚をよく食べました。  
富士山を初めて見たのは、結婚前に大島町から主人のいる富士へ遊びに来て、富士五湖を巡ったときでした。  
雄大な自然に感激し、水はおいしいし、ここに住んでもいいなと思いました。  
気になったことは、やはり大気の良いと、海がきたないことでした。  
普段の生活では、悪いですが魚がおいしくないことと、牛肉が高いのに味がよくないことです。季節風が強いのもこまっています。  
富士市は、まだ新しい都市のため、荒けずりな町だと思います。これからは大都市にはない自然を残しながら文化都市に向けて、文化会館などの施設を充実してほしいわ。